

東・中・西日本高速道路(株) 構造物施工管理要領 鉄筋防錆材 適合品

日本建築学会 鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準(案) 適合品

亜硝酸リチウム含有ポリマーセメント系鉄筋防錆材

リペアペースト

鉄筋 防錆材

リペアペーストは中性化や塩害によって腐食した鉄筋の防錆材です。

亜硝酸リチウムを混和したSBRラテックス系混和液とセメントパウダーとを混練りするだけで高い防錆性を有するポリマーセメント系鉄筋防錆ペーストとして使用できます。

リペアペーストはリペアミックス(断面修復材) シリーズと併せてお使いください。



特 長

- 1 防錆性** 鉄筋表面に強固な不動態被膜を形成
- 2 耐久性** 密実な塗膜を形成して腐食因子の浸入を抑制
- 3 接着性** 鉄筋との長期的な一体性
- 4 利便性** 経済的な小分けセットで計量不要

標準配合・使用量

荷姿	標準配合	標準使用量	施工可能面積
16kg/ケース 内訳:パウダー(3kg)×4袋 混和液(1kg)×4ポリ缶	パウダー 1袋 混和液 1缶	1.0kg/m ² (0.5mm厚)	16.0m ² / ケース

基本物性

項目		試験結果	試験方法
簡易フロー値	0分	180 mm	JASS15M-103
	30分	178 mm	
圧縮強度	1日	9.0 N/mm ²	JIS A 1171
	7日	24.0 N/mm ²	
	28日	30.3 N/mm ²	
曲げ強度	28日	9.5 N/mm ²	JIS A 1171
接着強度	28日	2.3 N/mm ²	建研式

※上記は試験結果の一例で保証値ではありません。

防錆性

項目		試験結果	基準値*
防錆率	補修部	85 %	50%以上
	基材部	27 %	—10%以上
鉄筋に対する付着強さ		11.3 N/mm ²	7.8 N/mm ² 以上
耐アルカリ性		塗膜に異常を認めない	異常が認められないこと

※日本建築学会「鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断及び補修指針(案)付1.3鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準(案)」による。



■ 施工方法

1

下地の清掃

施工面の浮き部、ひび割れ部、鉄筋露出部やその周辺の脆弱部をはつき取り、露出鉄筋の錆やはつき面の塵埃、レイタンス等をサンダーやワイヤブラシ、高圧水洗浄で除去してください。

2

材料の混練り

- ①はじめに混練用容器（パール缶など）を用意し、標準配合に準拠した量のリペアペースト混和液を投入してください。
- ②高速ハンドミキサーで攪拌しながらリペアペーストパウダーを少しずつ加え、ダマ・ままだ粉ができないように3分間丁寧に練り上げてください。
- ③材料の可使時間は、夏季で30分、冬季で60分程度を目安として、その時間内に使い切れる量を混練してください。

3

塗り付け作業

- ①下地施工面や使用する刷毛等を適度に水湿して、湿潤状態にしてから塗り付けを行ってください。
- ②下地に良くなじむように材料を十分にこすり付けてください。特に、露出鉄筋に塗布する場合、鉄筋背面に塗り残しが生じないように丁寧に塗り付けてください。
- ③可使時間内に材料がこわばってきた場合は、少量の水で練り返して使用してください。
- ④施工後は、直射日光などによる急激な乾燥を避けるよう注意してください。また、厳寒期には凍結対策として防寒養生・保温養生を行ってください。



※続けて断面修復する場合は、リペアペーストの指触硬化を確認してから行ってください。

関連 商材	無収縮グラウト材		断面修復材		超速硬モルタル/コンクリート			
								
	セメント系 無収縮グラウト材 グラウトミックス	セメント系 無収縮グラウト材【低熱タイプ】 グラウトミックスL	断面修復用 ポリマーセメントモルタル リペアミックス	断面修復用 ポリマーセメントモルタル リペアミックス Pro	セメント系 断面修復材 リペアミックスJ1	超速硬 プレミックスコンクリート リペアミックスNEXT	超速硬 高塑性モルタル オートモルスーパー	

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

  	警告	飲み込むと有害。水生生物に毒性。重篤な皮膚の薬障。重篤な目の損傷。発がんのおそれ。 吸引した場合、臓器(呼吸器系)の障害。長期または反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害。
【安全対策】 ・取扱い後は手、顔をよく洗うこと。 ・個人用保護具を着用すること。 ・粉塵を吸引しないこと。		
【保管】 ・部外者が触れないような措置をし、保管すること。		
【廃棄】 ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。		
【応急措置】 吸引した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 皮膚に付着した場合、流水またはシャワーで洗うこと。 目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 飲み込んだ場合、すぐに口をすすぐこと。 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断 / 手当てを受けること。		
本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。		

⚠ 注意事項

- 【使用上の注意】**・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。
・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。
・本製品はセメント製品につき湿気厳禁。雨露や直射日光を防ぎ、パレット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管すること。
- 【カタログに関する注意事項】**・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。

株式会社 トクヤマ エムテック

URL <https://www.k-tokuyama.co.jp>

本社・東日本営業Gr 103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F
TEL 03-6265-1075 FAX 03-6265-1073

中日本営業Gr 573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

西日本営業Gr 812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-8-2
TEL 092-642-9070 FAX 092-642-9071

首都圏セメント建材
開発センター 299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10
TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店